

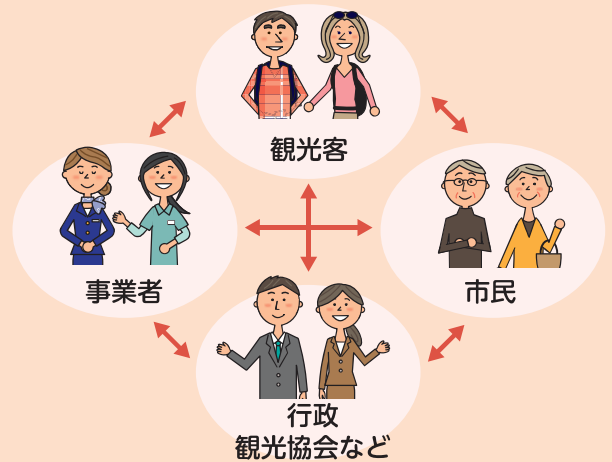
京都を より深く味わい 楽しむための 京都観光行動基準 (京都観光モラル)



京都が京都であり続けるために、そしてこれからもより皆さんに京都を深く味わい、楽しんでいただくために、観光と市民生活がより調和し、京都の文化や美しい景観が守られ、地域の発展やSDGsの推進にもつなげる持続可能な観光の実現を目指す必要があります。

京都市及び公益社団法人京都市観光協会 (DMO KYOTO) では、観光事業者・従事者等、観光客、市民の皆さんが、お互いに尊重しあい、思いを一つにし、かけがえのない京都を未来へと引き継いでいくため、京都観光にかかわるすべての皆さんとともに大切にしていきたいこととして、令和2年11月に「京都観光行動基準 (京都観光モラル)」を策定しました。

修学旅行で京都を訪れた際には、京都が未来のために大切にしていることを共有しながら、京都での学びを深め、その魅力を味わいましょう。



観光客の皆様と大切にしていきたいこと

京都観光モラル
観光客編

京都の観光業界で働く方々、京都に住まう市民の方々、そして京都を訪れる観光客の皆様とともに、思いを一つに、未来につなぐ京都観光を創りあげましょう。

地域を思いやる

【行動例】地域住民にとっての信仰の場では適切に振る舞う



環境・美しい街を守る

【行動例】ゴミのポイ捨てをしない



人とふれあう

【行動例】京都の人と話し地域に息づく魅力に触れる



“もしも”に備える

【行動例】宿泊施設での避難経路、避難場所の事前確認



もっと詳しく全編を知りたい場合は、[京都観光行動基準](#) [検索](#)